
【NITEケミマガ】NITE化学物質管理関連情報 第184号

2014/02/19配信

本メールマガジン【NITEケミマガ】（NITE化学物質管理関連情報）は、化学物質管理に関連するサイトの新着情報、報道発表情報等を配信するサービスです。

原則として、毎週水曜日に配信いたします。

なお、本メールマガジンは平成25年度独立行政法人製品評価技術基盤機構委託業務として、みずほ情報総研株式会社に記事作成を委託しております。

連絡先： chem-manage@nite.go.jp

----- 2/13～2/19までの更新情報 -----

●製品評価技術基盤機構(NITE)

【2014/02/13】

- ・ J-CHECKのデータを更新しました。

→ http://www.safe.nite.go.jp/jcheck/top.action?request_locale=ja

標記データベースを更新しました。主な更新情報は以下の通り。

- ・平成25年7月31日公示新規化学物質の判定結果（分解性及び蓄積性）（2013年12月5日公表）
- ・新規化学物質として既に公示されたものの変化物である既存化学物質の判定結果（蓄積性）（2013年12月5日公表）
- ・分解性未判定物質の分解性について（類似化学物質の分解性との比較）
- ・MITI番号（官報公示整理番号）とCAS番号との組合せ

【2014/02/13】

- ・CHRIPのデータを更新しました。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/japan/osirase.html>

以下のデータを更新しました。主な更新は以下の通り。

- ・化審法に基づく新規公示化学物質(通称「白物質」)
- ・化審法に基づく官報公示整理番号に対応するCAS番号の関連づけ
- ・化審法に基づく化学物質安全性点検結果
- ・労働安全衛生法に基づく公表化学物質に対応するCAS番号の関連付け
- ・労働安全衛生法に基づく既存化学物質の変異原性試験結果
- ・欧州化学品規制(REACH)に基づく高懸念物質(SVHC)
- ・米国有害物質規制法(TSCA)に基づく既存化学物質

- ・PIC(ロッテルダム)条約
- ・ICSC(国際化学物質安全性カード)
- ・オーストラリア:PEC(優先既存化学品)Assessment Reports
- ・一般情報:日本語名称、英語名称

【2014/02/14】

- ・特定芳香族アミンの定量分析試験所の登録準備を開始
- <http://www.iajapan.nite.go.jp/iajapan/pdf/20140214news.pdf>

標記資料を掲載しました。

●経済産業省・厚生労働省・環境省

【2014/02/12】

- ・スクリーニング評価・リスク評価に係る有害性情報の提供にご協力お願いします

- ・経済産業省

→ http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/information/ra_14021201.html

- ・環境省

→ http://www.env.go.jp/chemi/kagaku/oshirase/pab_com1402.html

標記資料が掲載された。

●経済産業省

【2014/02/17】

- ・化学物質排出把握管理促進法のページをリニューアルしました。
- http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/index.html

標記ページが更新された。

●厚生労働省・農林水産省

【2014/02/10】

- ・第55回 コーデックス連絡協議会 会議資料

- ・厚生労働省

→ http://www.mhlw.go.jp/topics/identshi/codex/07-09/dl/55th_document.pdf

1月31日に開催された標記会合の資料が掲載された。議題は、

- (1) 最近コーデックス委員会で検討された議題について
 - (2) 今後コーデックス委員会で検討される議題について
- など。

●厚生労働省

【2014/02/10】

・建築物の解体等作業及び石綿等が吹き付けられた建築物等の業務における石綿による労働者の健康障害防止対策の徹底について(平成26年2月7日基安発0207第2号)

→ <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/tsuchi/T140207K0020.pdf>

・参考

→ <http://www.ourei.mhlw.go.jp/ourei/doc/tsuchi/T140207K0021.pdf>

標記通知が掲載された。

【2014/02/10】

・農薬(マラチオン)が検出された冷凍食品に関連する健康被害が疑われる事例について(第25報)

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000036990.html>

標記資料が掲載された。

【2014/02/13】

・農薬(マラチオン)が検出された冷凍食品に関連する健康被害が疑われる事例について(第26報)

→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000037266.html>

標記資料が掲載された。

【2014/02/12】

・石綿障害予防規則の一部を改正する省令案及び建築物等の解体等の作業での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針の一部改正案に係る意見募集について

→ <http://search.e-gov.go.jp/servlet/Public?CLASSNAME=PCMMSTDETAIL&id=495130269&Mode=0>

2月12日から3月13日までの間、標記の意見募集が行われている。

【2014/02/18】

・輸入食品の安全を守るために(違反事例-国内における輸入食品違反事例)

→ <http://www.mhlw.go.jp/topics/yunyu/ihan/index.html>

標記ページが更新された。

●環境省

【2014/02/06】

・平成25年度水俣病経験の普及啓発セミナーの開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17715>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:3月1日(土)13:00~17:00

場所:発明会館 (東京都港区虎ノ門2-9)

定員:150名

内容:テーマ「水俣病発生地域の現状と今後の課題～水銀に関する水俣条約の採択を受けて」

【2014/02/07】

・第24回 揮発性有機化合物(VOC)排出インベントリ検討会 議事次第

→ http://www.env.go.jp/air/osen/voc/inventory_kento/24/index.html

2月5日に開催された標記会合の資料が掲載された。議題は、

(1)平成25年度VOC排出インベントリ検討会の進め方について

(2)推計精度向上に関する検討について

など。

【2014/02/13】

・公開セミナー「水銀に関する水俣条約と我が国の対応」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17755>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:3月12日(水)14:15～17:30

場所:京都大学 総合研究8号館3階 NSホール (京都市左京区吉田本町)

内容:テーマ「水俣病発生地域の現状と今後の課題～水銀に関する水俣条約の採択を受けて」

【2014/02/14】

- ・中央環境審議会環境保健部会 化学物質評価専門委員会(第19回)議事録
→ <http://www.env.go.jp/council/05hoken/y052-19a.html>

12月27日に行われた標記会合の議事録が掲載された。議題は、
(1)化学物質環境実態調査(平成24年度調査結果等)について
(2)化学物質の環境リスク初期評価(第12次とりまとめ)について
など。

【2014/02/14】

- ・平成25年度光化学オキシダント調査検討会(第4回)の開催について(お知らせ)
→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17739>

2月28日に標記会合が記載される。議題は、
(1)光化学オキシダント調査検討会報告書について
(2)シミュレーションモデルを用いた検討について
(3)VOCモニタリングデータの整理・検証について
など。

【2014/02/14】

- ・越境大気汚染・酸性雨対策検討会の開催について(お知らせ)
→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17740>

3月17日に標記会合が開催される。議題は、
(1)平成24年度国内モニタリングデータ(湿性・乾性沈着、土壌・植生、陸水、集水域)について
(2)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング報告書(平成20～24年度)について
(3)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画の見直しについて
など。

また、標記会合に先立ち、越境大気汚染・酸性雨対策検討会大気分科会及び生態影響分科会が2月26日に開催される。議題は、

・大気分科会(10:00～12:00)

- (1)平成24年度国内モニタリングデータ(湿性・乾性沈着)の確定について
- (2)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング報告書(平成20～24年度)について
- (3)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画の見直しについて
など。

・生態影響分科会(14:00～16:00)

- (1)平成24年度国内モニタリングデータ(土壌・植生、陸水、集水域)の確定について
- (2)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング報告書(平成20～24年度)について
- (3)越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画の見直しについて
など。

【2014/02/17】

・中央環境審議会水環境部会環境基準健康項目専門委員会(第17回)の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17757>

2月28日に標記会合が記載される。議題は、

- (1)「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準について(第4次報告)(案)」に対するパブリックコメントの実施結果について
- (2)「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準について(第4次報告)(案)」について
- (3)要調査項目リストの見直しについて
など。

【2014/02/17】

・「平成25年度 第2回建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策 マニュアル改訂委員会」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17759>

2月27日に標記会合が開催される。議題は、建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル改訂作業について、など。

【2014/02/17】

・平成25年度第2回エコチル調査企画評価委員会の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17752>

2月28日に標記会合が開催される。議題は、

- (1)エコチル調査の実施状況について
 - (2)エコチル調査の年次評価について
- など。

●農林水産省

【2014/02/14】

・食品安全に関するリスクプロファイルシート

・ヒ素

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_as.pdf

・鉛

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_pb.pdf

・ダイオキシン類

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_dioxin.pdf

・アクリルアミド

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_aa.pdf

・クロロプロパノール類

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_3-mcpd.pdf

・トランス脂肪酸

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/risk_analysis/priority/pdf/140214_tfa.pdf

標記資料が掲載された。

●内閣府食品安全委員会

【2014/02/13】

・食品安全委員会 器具・容器包装専門調査会
(第26回)の開催について

→ http://www.fsc.go.jp/osirase/kigu_youki_annai26.html

2月20日に標記会合が開催される。議題は、フタル酸ジブチル(DBP)に係る食品健康影響評価について、など。

【2014/02/14】

・食品安全関係情報を更新しました(最新2週間(平成26年1月10日～平成26年1月24日)の海外情報はこちらから)

→

http://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?keyword=%EF%BC%AC%EF%BC%A4%EF%BC%95%EF%BC%90&query=&logic=and&calendar=japanese&year=&from=struct&from_year=2014&from_month=01&from_day=10&to=struct&to_year=2014&to_month=01&to_day=24&areaId=00&countryId=000&informationSou

最新2週間の海外情報(1月10日～1月24日)が更新された。食品安全総合情報システムで検索できる。

●農林水産消費安全技術センター (FAMIC)

【2014/02/12】

- ・[メールマガジン]バックナンバーに第521号を掲載しました。
- http://www.famic.go.jp/mail_magazine/backnumbers/No521.htm

標記情報が更新された。

【2014/02/14】

- ・農薬登録情報ダウンロードを更新しました。
- <http://www.acis.famic.go.jp/ddownload/index.htm>

標記情報が更新された。

●中小企業基盤整備機構

【2014/02/17】

- ・[J-Net21]REACH コラム:REACHにまつわる最近のニュースから(46) - REACHにおけるフタル酸エステルの規制について-
- <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/column/140217.html>

標記コラムが掲載された。

【2014/02/17】

- ・[J-Net21]REACH Q. 421:REACH規則におけるジブチルスズの規制(「スズ換算で重量比0.1%以上」の考え方、医療機器輸出時の一般公衆向けと産業用途の区別について)
- <http://j-net21.smrj.go.jp/well/reach/qa/421.html>

標記Q&Aが掲載された。

【2014/02/17】

- ・ [J-Net21]RoHS Q. 413:RoHS指令におけるフタル酸エステル類の扱いについて

→ <http://j-net21.smrj.go.jp/well/rohs/qa/413.html>

標記Q&Aが掲載された。

● 欧州化学品庁 (ECHA)

【2014/02/10】

- ・ ECHA proposes a new batch of SVHCs for authorisation

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/echa-proposes-a-new-batch-of-svhcs-for-authorisation

ECHAは、REACH規則に基づく認可対象物質に高懸念物質(SVHC)の中から新たに5物質を追加することを欧州委員会に対して提案した。

【2014/02/10】

- ・ Public consultation on potential candidates for substitution

→

<http://echa.europa.eu/addressing-chemicals-of-concern/biocidal-products-regulation/public-consultation-on-potential-candidates-for-substitution>

ECHAは、バイオサイド規則に基づく以下の6つの有効成分の承認にあたってパブリックコンサルテーションを開始した。提出期限は、4月11日。

- ・ Clothianidin(CAS:210880-92-5)
- ・ Cybutryne(CAS:28159-98-0)
- ・ Cyfluthrin (CAS:68359-37-5)
- ・ Hexaflumuron (CAS:86479-06-3)
- ・ N,N'-methylenebismorpholine (MBM) (CAS:5625-90-1)
- ・ Didecylmethylpoly(oxyethyl)ammonium propionate (CAS:94667-33-1)

【2014/02/11】

- ・ Harmonised classification and labelling

→ <http://echa.europa.eu/harmonised-classification-and-labelling-consultation>

ECHAは、CLP規則に基づき、調和化された分類・表示提案を発表し、パブ

リックコンサルテーションを開始した。対象物質は、chloralose (INN)
; (R)-1,2-O-(2,2,2-trichloroethylidene)- α -D-glucofuranose; gluochloralose
; anhydrogluochloral (CAS:15879-93-3)で、提出期限は3月28日。

【2014/02/11】

- Draft update of the IR&CSA Guidance - Part C and Chapters R. 7b, R. 7c and R. 11 (related to PBT/vPvB assessment) sent to MSC
-

<http://echa.europa.eu/support/guidance-on-reach-and-clp-implementation/consultation-procedure?panel=pbt2013#pbt2013>

ECHAは、既存または新規のガイダンスを更新するとき、潜在的に外部の専門家を含むコンサルテーションの手順について対応する案を公開した。

【2014/02/12】

- Public consultations on alternatives to the uses of diarsenic trioxide, and lead chromate pigments Yellow 34 and Red 104 have opened
-

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/public-consultations-on-alternatives-to-the-uses-of-diarsenic-trioxide-and-lead-chromate-pigments-yellow-34-and-red-104-have-opened

ECHAは、REACH規則に基づいて提出された以下3物質に対する合計16件の特定用途の認可申請に関して、代替物質も含めた技術の情報提出を求めるパブリックコンサルテーションを開始した。コメントの提出期限は、2014年4月9日。

- Diarsenic trioxide (CAS:1327-53-3)
- Lead sulfochromate yellow (C.I. Pigment Yellow 34) (CAS:1344-37-2)
- Lead chromate molybdate sulphate red (C.I. Pigment Red 104) (CAS:12656-85-8)

【2014/02/12】

- Updated Guidance on the preparation of an Annex XV dossier for the identification of substances of very high concern
-

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/updated-guidance-on-the-preparation-of-an-annex-xv-dossier-for-the-identification-of-substances-of-very-high-concern

ECHAは、高懸念物質(SVHC)の特定のための附属書XV(ドシエ)の準備に関するガイダンス(改訂草案)を更新した。

【2014/02/13】

- Board of Appeal's press release: Board of Appeal's latest decision emphasises the importance of fully justifying read-across proposals

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/board-of-appeals-latest-decision-emphasises-the-importance-of-fully-justifying-read-across-proposals

ECHAは、上訴委員会(Board of Appeal)が事業者のリードアクロスを用いた提案の正当性をを全面的に認めたことを発表した。

【2014/02/14】

- February issue of ECHA Newsletter published

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/february-issue-of-echa-newsletter-published

ECHAは、2014年第1号のニュースレターを掲載した。内容は、

- ドシエの評価について
- PRORDの通知について
- 殺生物製品の連合認可(union authorisation)について
- PIC規則におけるECHAの役割について
- 混合物の安全な使用に関する情報について

など。

【2014/02/14】

- Unresponsive registrants of intermediates obliged to give more information

→

http://echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/unresponsive-registrants-of-intermediates-obliged-to-give-more-information

ECHAは、中間体の登録者に対して、ドシエの記述に矛盾があるため、ドシエの内容の修正を要求する文書を送付した。既に約2,000ドシエが修正されているが、未だに応答のない46事業者(118ドシエ)については、1ヶ月以内に登録内容を修正することを注意喚起した。

●米国環境保護庁 (US EPA)

【2014/02/06】

・Memorandum of Understanding on the Migratory Bird Treaty Act ? Now Available for Public Comment

→ http://www.epa.gov/oppfead1/cb/csb_page/updates/2014/birdtreaty.html

米国EPAは、渡り鳥協定法に関する覚書について、パブリックコメントを受け付けている。当該覚書の中で、米国EPAは渡り鳥に対する農薬の影響を考慮することを挙げている。

【2014/02/06】

・EPA Announces Improvements to Protect the Rights of Data Owners and Ensure Compliance with Data Compensation Rules

→ http://www.epa.gov/oppfead1/cb/csb_page/updates/2014/datarules.html

米国EPAは、データの提出者の保護のため、データの補償に関する新しいガイダンスを公開した。

●セミナー情報

【2014/02/06】

・【環境省】平成25年度水俣病経験の普及啓発セミナーの開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17715>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:3月1日(土)13:00~17:00

場所:発明会館 (東京都港区虎ノ門2-9)

定員:150名

内容:テーマ「水俣病発生地域の現状と今後の課題～水銀に関する水俣条約の採択を受けて」

【2014/02/13】

・【環境省】公開セミナー「水銀に関する水俣条約と我が国の対応」の開催について(お知らせ)

→ <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=17755>

下記の要領で標記セミナーが開催される。

日時:3月12日(水)14:15~17:30

場所:京都大学 総合研究8号館3階 NSホール (京都市左京区吉田本町)

内容:テーマ「水俣病発生地域の現状と今後の課題～水銀に関する水俣条約の採択を受けて」

約の採択を受けて」

※ 本セミナー情報は、参加費無料のものに限定しております。

【NITEケミマガ】をご利用いただきまして、ありがとうございます。

- 【NITEケミマガ】のバックナンバーは、下記HPをご覧ください。

→ <http://www.safe.nite.go.jp/shiryo/chemimaga.html>

- 配信停止をご希望の方は、以下のURLをクリックして下さい。

→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

- 配信先e-mailアドレスの変更をご希望の方は、以下のURLをクリックして
配信停止手続きをしていただき、新たに配信登録をお願いします。

配信停止→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_del.html

配信登録→ http://www.safe.nite.go.jp/mailmagazine/chemmail_01.html

- ご意見・ご感想・ご要望等は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

chem-manage@nite.go.jp

- ・ 【NITEケミマガ】の転送、複写は、読者の組織内に対し全文の転送、複写をする
場合に限り、自由に行って頂いて構いません。

- ・ 組織外への公表・転送、商用利用等につきましては、以下のメールアドレスまで
お問い合わせください。

→ chem-manage@nite.go.jp

- ・ 発行元：独立行政法人製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

- ・ 記事作成元：みずほ情報総研(株) 環境エネルギー第1部 環境リスクチーム